

伊仙町議会だより いせん



第16回大島地区肉用牛振興大会
九州農政局長賞
鹿児島県経済農業協同組合連合会

第16回大島地区肉用牛振興大会
グランプリチャンピオン
鹿児島県経済農業協同組合連合会

第16回大島地区肉用牛振興大会
萩原三笠杯
鹿児島県経済農業協同組合連合会

第16回大島地区肉用牛振興大会
特別賞 軀
鹿児島県経済農業協同組合連合会

第16回大島地区肉用牛振興大会
種牛性
鹿児島県経済農業協同組合連合会

第16回 大島地区肉用牛振興大会
牛主：政 栄達 氏
賞：九州農政局長賞
グランプリチャンピオン賞
萩原三笠杯賞
特別部位賞 (体積・種牛性・後軀)
計6つの賞を受賞

第44号 発行 伊仙町議会

〒891-8293
大島郡伊仙町伊仙11842
事務局 ☎ (0997) 86-31111
編集 議会広報編集委員会
印刷 (有)奄美新生社印刷

平成26年12月議会についてのお問い合わせは、伊仙町議会事務局 (86-3111 内線16) までお問い合わせください。
※過去の議会の内容に関しては、こちらのアドレスまで <http://www.town.isen.kagoshima.jp/>

平成26年 第3回伊仙町議会定例会 全議案 (会期9/10~19)

番 号	議 案 名	採決結果
報告第2号	平成25年度健全化判断比率	報 告
報告第3号	平成25年度資金不足比率	報 告
議案第38号	伊仙町消防団条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第39号	伊仙町肉用牛特別導入事業基金条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第40号	平成26年度伊仙町一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第41号	平成26年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第42号	平成26年度伊仙町介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第43号	平成26年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第44号	平成26年度伊仙町簡易水道特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第45号	平成26年度伊仙町上水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
認定第1号	平成25年度伊仙町一般会計歳入歳出決算	認 定
認定第2号	平成25年度伊仙町国民健康保険特別会計歳入歳出決算	認 定
認定第3号	平成25年度伊仙町介護保険特別会計歳入歳出決算	認 定
認定第4号	平成25年度伊仙町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認 定
認定第5号	平成25年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計歳入歳出決算	認 定
認定第6号	平成25年度伊仙町簡易水道特別会計歳入歳出決算	認 定
認定第7号	平成25年度伊仙町上水道事業会計歳入歳出決算	認 定

平成26年 第3回伊仙町議会定例会 提出陳情審議一覧

番 号	件 名	採決結果
陳情第7号	ドクターヘリの早期配備を求める要望書	採 択
陳情第8号	川内原発1・2号機の再稼働に当たって250km圏内に入る圏内全自治体の同意を得る意見書	継続審査

○補正予算審議に関する総括

補正予算の審議においては、「平成26年度伊仙町一般会計補正予算(第3号)」について、議員より「平成28年度以降は、形式収支、実質収支ともにマイナスとなり、基金が0となると予想されていることから、今伊仙町がやらなければならないことは、直接町民の負担軽減につながる施策に予算を費やしながらも、確実に町自体の自力を養う方へ転換すべきだと思う」との討論がありました。

○平成25年度伊仙町一般会計歳入歳出他6特別会計決算審査に関する総括

決算審査においては、まず一般会計(歳入の部)において、町税の不能欠損額が3,828,149円、収入未済額が39,625,421円となっており、徴収体制の見直しを強く求めました。(歳出の部)においては、農業施策に対して、予算措置をしているものの、費用対効果が乏しいうえに、農家との意識に多少の距離感があることを指摘しました。また、子育て政策については、全国から注目されていることから、思い切った予算措置をする必要があるとの提言を致しました。

特別会計においては、一般会計同様に、国保並びに介護の歳入において、多額の不納欠損額、収入未済額があることから、今後は滞納分の徴収について、鋭意努力するよう指摘いたしました。

(※なお、詳しい議会の内容については、町公式HPに掲載されていますので、会議録をご覧ください。)



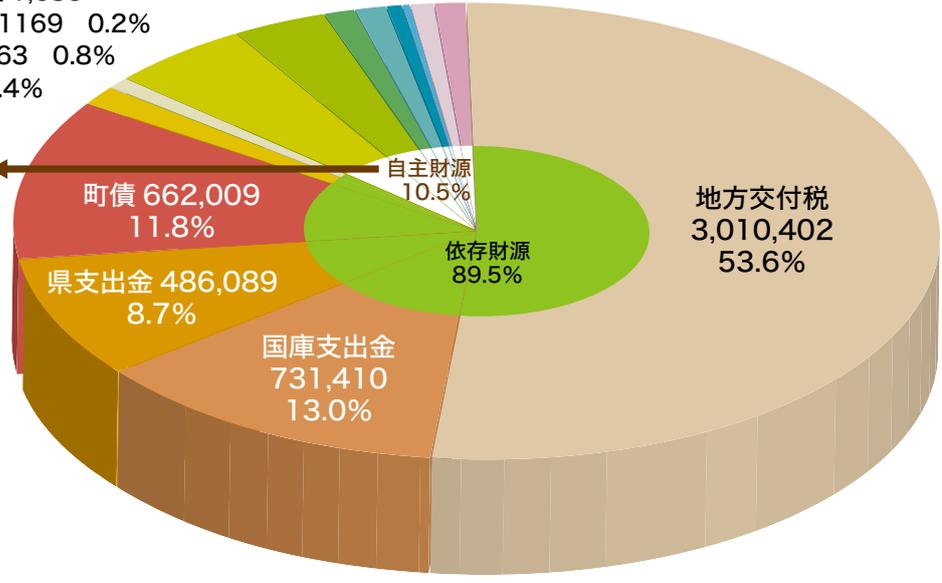
平成25年度 一般会計歳入歳出決算

科目別歳入状況 総額 5,613,145 (単位：千円)

- 配当割交付金 633
- 地方特例交付金 385
- 利子割交付金 633
- 交通安全対策特別交付金 1,635
- 自動車所得税交付金 11169 0.2%
- 地方消費税交付金 46,863 0.8%
- 地方譲与税 76,261 1.4%

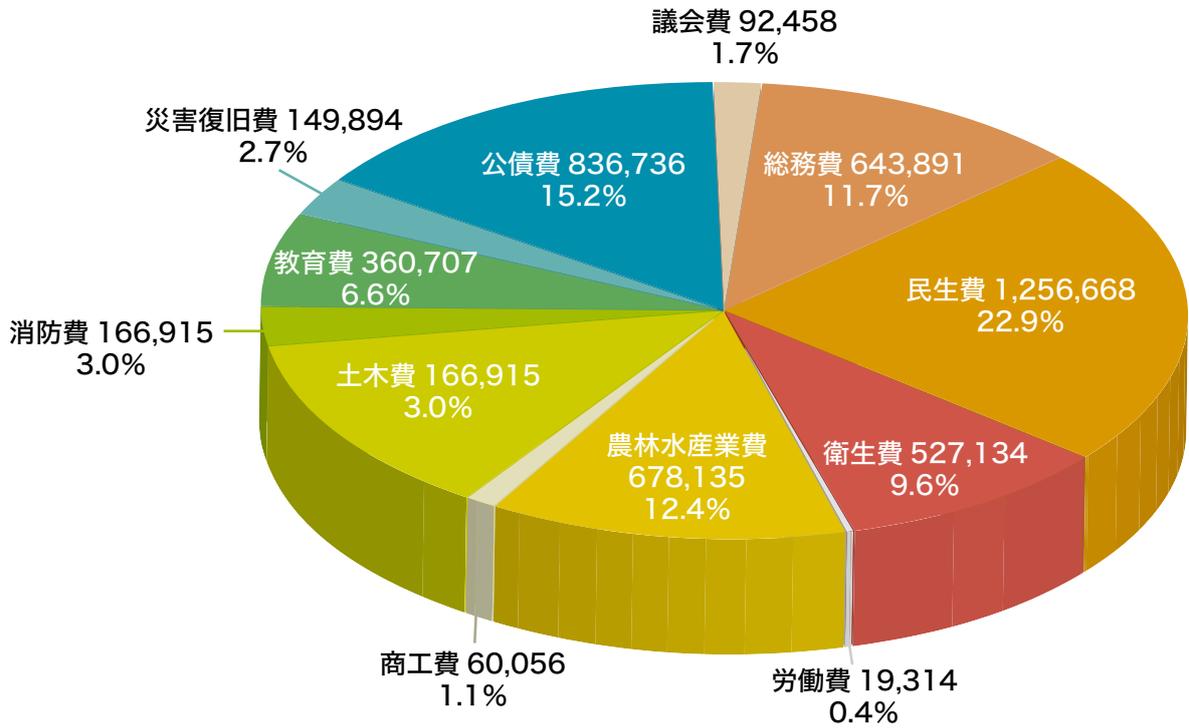
- 諸収入 68,931 1.2%
- 繰越金 64,838 1.2%
- 繰入金 195,523 3.5%
- 町税 284,181 5.0%
- 使用料及び手数料 61,692 1.1%
- 分担金及び負担金 51,525 0.9%
- 寄附金 8,984 0.2%
- 財産収入 20,936 0.4%

自主財源が1割ほどしかなく、ほとんどが交付税等に依存している状況なんだな。



自主財源とは…町が、自主的に得られる財源で、町税が代表的です。そのほか、条例や、規則で基準を定めて徴収できる、使用料、手数料などがあります。

科目別歳出状況 総額 5,490,623 (単位：千円)



地研修

（千葉県・東京都）



平成26年10月1日（水）午後～

（中央要望活動）

町が掲げる重要施策の支援を要望するため、石破茂内閣府特命担当大臣（地方創生）・小泉進次郎政務官をはじめ、地元選出議員5名のもとへ直接伺い要望活動を行って参りました。

要望の内容

1

少子高齢化対策としての「長寿・子宝モデル伊仙町」への支援について。

長寿と子宝の双方が、相乗効果をもたらしているこの地域の特性は、少子高齢化施策に反映できうる可能性を秘めていると考える。しかし、その要因をさらに調査分析し、活用できる施策立案のための専門的知見が必要である。今後、国が進める少子化対策を新たなステージへ高める観点から、この伊仙町の取組を国の少子化危機突破のためのモデルとして反映、その成果を国内の他地域へ波及できる体制づくりや、事業推進に向けての財政的支援を要望するものであります。

2

雇用確保に向けた支援について。

我が町は、農業を中心とした第1次産業が基幹産業であります。基幹産業を持続させるため、新規就農者や担い手の確保、認定農業者への支援などあらゆる施策を講じて雇用に努めている。しかし、気象変動による農作物の被害や販路開拓など、あらゆる課題が露呈し安定した所得が望めなく、特に若い労働者が、都市部へ流出するのが現状である。そこで、地域の特性を活かし第一次産業に相乗効果をもたらすよう、6次産業の確立を核とした企業誘致を行い、企業間のシナジー効果を促進することで地域経済活性化への活路を見出し、それらを雇用に繋げていきたい。さらに、地方創生の核である経済基盤の確立、雇用の確保、企業が進出を促進するための輸送コストの軽減等を要望するものであります。

3

移住定住促進対策について。

我が町では高齢化と年少者人口減による過疎化が進行し、空き家も増加している。また、様々な理由からそのほとんどが活用できないまま空いた状態となっている。そこで、空き家の利活用を進めることが地域にとって、多くの効果をもたらすと同時に、UIOターンを含め、基幹産業である農業や新たなビジネスの担い手として、多くの若者が来訪、定住し、地域全体の振興と人口減少に歯止めがかかることが期待できることから、市町村による空き家管理、交付金を活用した廃屋除去等でき得る法体系の整備、財政措置の拡大をして頂きたいと要望するものであります。



県外先進

美山議員研修レポート

(奄美・成田間を就航するバナラエア)

9月29日(月) 徳之島空港を出発して奄美空港経由で成田空港へバナラエア機(格安航空)を利用しました。

初めてのバナラエアでしたが、約180人乗りで座席は少し狭いが乗り心地はJALと何ら変わりはない。機内では、飲み物やお土産などが販売されており、充実した機内となっていました。

(千葉県JA富里市落花生について)

30日(火) 午前9時30分より、JA富里市会議室にて、担当者より落花生の説明を受けました。そこで驚いたことは、我々は馬鈴薯の収穫後に植えるため、肥料を入れることはないが、富里では、落花生を植付けする前に肥料を入れることである。肥料は、落花生専用が開発されたもので、20Kg内に対し、窒素1Kg・リンサン3Kg・カリ4Kgで、一反あたり、3~5袋ほど散布することです。

収穫においては、堀機を使用し、掘った後は、葉っぱを外に向け落花生の身は内側にして円形に積み上げ1ヵ月ほど天日干しにするとのことでした。徳之島では湿気が多く外に積んで置くとカビが発生し、腐るのではないかと。また台風の影響もあるため、外に干すことは難しいと思われる。

身をむく機械については、徳之島では、むき身にして販売されるのが一般的で、むく機械があるのではないかと質問したところ、取引が入り莢のまま行われる為、JA富里自体にむく機械はない。また、種子についても、JA富里(農協)ではなく、専門業者が取り扱っていて、保管時に入り莢のまま保管するとのことでした。

また一番気になる、収量においては、一反あたり、乾燥させて400Kg~500Kg(莢つきのまま)×1Kg400円は20万の収量で、それらからコスト5万を差し引くと、反収15万ほどになるという。徳之島の農家に何うと、一反あたり、160~200Kgほどの収穫量で、割にあわないという意見もあったが、馬鈴薯の連作障害を防ぎつつ、肥やしとなり、馬鈴薯の倍率があがるのであれば、馬鈴薯と、落花生の組み合わせで、取り入れたいものと感じました。

以上、JA富里市での落花生を中心ではありますが、研修報告といたします。

	= 3泊4日 =
9月29日	成田へ
9月30日	千葉県JA富里市
10月1日	国会議事堂・要望活動
10月2日	帰省



このように積み上げ約1ヵ月天日干しします。この地域の土は、火山灰土でとても細かい土



おおまさり・里の香・ナカテユタカ・千葉半立の4種類あります。



落花生専用の肥料



JA富里市会議室にて研修の様子

平成26年 第3回定例会

一般質問

通学路としての安全性は

問

Aコープ周辺の道路整備の進捗状況について、3月に行われた第1回定例会の質問から半年ほど経過しているわけだがその後、町当局としてどのように協議されたのか。また、学校の通学路としての安全性も問われている中、学校側とも協議されたのか。さらに第2回定例会においては、Aコープ側と協議を進めていくとの答弁もあり、その後協議をなされたのか問う。

答

JA側と協議していく町としてもいくつかのルートを、財政面等を踏まえ協議いたしました。また、教育委員会、中学校、小学校の先生方と現場にて協議したところ、子どもたちが通学路として一番使用している道路に歩道をつけてもらいたいとの話もいただきました。Aコ

ープとの協議では、オープンして間もないので、予算的に厳しいという事でしたが、本社やJAあまみ徳之島本部とも協議していききたいと思えます。



Aコープ伊仙店

修繕工事の進捗状況と耐用基準を満たさない旧校舎の対応は

問

老朽化した校舎の今後の対応について、第3回臨時会にて議決された一般会計補正予算の学校管理費（修繕費）において、約800万円ほど計上されているが、この件について、既に着手している鹿浦小学校の修繕工事の進

捗状況と今後の町内にある耐用基準を満たさない旧校舎（伊仙中学校旧3階建校舎）への対応について問う。

第5次伊仙町総合計画で盛り込む

答

鹿浦小学校の修繕費は、第3回臨時会にて議決していただきました。夏休み期間で完了させる為、7月25日から着工し8月27日に完了いたしました。今後の旧校舎への対応ですが、現在、職員室、校長室、図書室があります。今後は教職員の安全面と施設の整備が急務となります。現在、常任委員会です。町内学校の統廃合に関する調査を取り上げていただいておりますが、今後議論していきたいと思えます。伊仙中学校の旧3階建校舎ですが、国が示す耐震基準を満たしていない建物となります。文科省では、学校施設の耐震強度はIS値0・7以上保つように求めています。伊仙中学校の旧3階建校舎はIS値0・46であります。これは大規模な地震により、倒壊の危険性



伊仙中学校旧3階建校舎 (左側)

がある建物となります。耐震性の確保がされていない学校施設については、27年度まで現在のまま使用し、28年度以降は未使用という事を県の学校施設課には報告してあります。教育委員会としても、一日も早い学校建設を望んでいるところでもあります。財政上大変厳しい状況であります。現在、第5次伊仙町総合計画を策定中であり、その中に盛り込んでいく予定をしているところでもあります。

学校給食の食材調達について

問

伊仙町学校給食センターの食材購入について、前回質問した際、島内購入は全体の89%で、調達できない食材等は、県指定の学校給食会から調達していると伺ったが、「一部の店舗や大型店の占める割合が多い、我々も同じ食材を同等に納入できる。」との声も上がっている。価格や鮮度等、色々配慮しての事だと思いが、島内というより町内、また、一部の店舗だけではなく、今後の地元商店街の活性化等も考慮した施策はとれないのか、また現在どの様なルートで食材調達しているのか問



平議員

食品規格表に基づいて個人からでも購入する

答 昨年度、当給食センターに食材を納入された業者及び個人は35団体あり、その内、島内が31団体（伊仙町は23団体）で、全体の89%に上ります。町内については、県全体から見ると66%ですが、島内比率だと74%に上ります。町内の畑で採れた準地場産が、25年度では21・6%となっており、郡内でもかなり高い数字になっています。調理用教材の供給については、一般に学校給食用基本物資と称される、小麦・米・牛乳・脱脂粉乳・調味料については、鹿児島県学校給食会を通じて供給されています。おかげで用いる食材は、献立に基づき島内業者より購入しています。確かに、百菜やAコープの方が旬の食材が揃いやすいし、品揃えが良いという事で、多めに取ってしまいう事もありますが、先日も町内の個人の方から、冬瓜がだいぶ採れたので納入したいとの連絡もありまし

う。また、町外の個人や業者に関しても、直接食材をもってこられて、町内の業者よりも物凄い値段で売り込みに来たという経緯等もあります。町内外を問わず、食材を直接売り込みに来られた業者や個人については、一度も拒否したことはございません。地元商店の方や個人の方でも、これだけの食材があるという事で、直接持って来ていただければ、食品規格表に基づいて厳正な審査を行い、適合すれば必ず購入する様にしていきたいと思います。

災害から町民を守るための対策は

問 豪雨災害について。我が伊仙町において、6月の豪雨や7月に襲来した台風8号によって東伊仙東集落の字義ノ津で上流から流れてきた雨水で畑が冠水し、農作物を植付けても毎年収穫ができない状況であります。また、県道が冠水し車が通行止になり、住民の生活路線として機能を停止している状況が新聞等でも報道されています。町として県と協議を重

ねて何らかの対策を講じる必要があると考えます。早急に排水路を設置するなど措置を講じて、安全対策をとることは出来ないか問う。

地権者との交渉が必要

答 県道の道路拡幅工事が西伊仙の方から順次整備され役場前で工事が止まった時点で、再度県と排水路等の交渉はしました。やっとエディオン近くまで計画が出てきて、その後も早急に県へ継続して東伊仙東までの道路拡幅工事の要望は何回もしています。路線が決定した時点でその問題は解決できるわけでありますので、それまでの間どのように対応していくかが重要であります。緊急的、避難的な形での排水路にしても相当の経費がかかりますので、地権者何名かいますが、粘り強く交渉し、もともとあった水路を復活させるのが一番早いわけですが、しっかりと交渉を継続していくことが必要だと思えます。



東伊仙東集落
台風8号により冠水（左側）

道路拡幅に伴う県への要望は

問 県道の拡幅工事計画に伴う町の要望について、役場からエディオン電気店までは、26年度に、道路拡幅工事が計画されていると聞いています。

町として、県へ住民の生活路線としての機能を向上させるべく、平成27年度以降の計画について、要望されたことはあるのか問う。

要望書をもう一度提出

答 町としても、県道末期整備の要望をしていると



美山議員

ころです。今後、未改良区間の早期事業採択の要望書をもう一度、県徳之島事務所建設課へ提出したいと思っています。

土砂流出防止策の必要性は

問 集落排水路の設置について、目手久集落

内の上流から雨水や土砂が流出し、住民が大変苦慮しており、個人の手では対応することが出来ません。今後、災害が発生する前に、他の集落も含めて、危険箇所区域に住まわれている住民の宅地を中心に、災害に遭わないよう排水路の設置や土砂流出防止策を講じる必要があると思うが、町として対応をどのように考えているか問う。

財政担当とも協議

答 目手久集落に限らず、豪雨災害で、宅

地や農地へ雨水が流出して畑を流したり、被害が町内各地で発生しています。来年度以降、建設課、耕地課、町道、農道関係で、排水路工事の予算を確保して、長期的に整備するように財政担当とも協議を進め

ていきます。

安全対策に街灯を

問 県道から、なくさみ館まで約200m区

間、夜間照明がなく、闘牛運搬車、大型バスが通行した場合、高齢者や子どもが徒歩で闘牛観戦の行き帰りに道路が混雑して大変危険を感じています。町としては、すばらしいドーム闘牛場を建設して、事故を起こさない為にも街灯を設置して、安全対策を講ずることが必要と考えるが、どのように対応するのか問う。

補助事業も模索しながら検討

答 県道から、徳之島な

なくさみ館までの街灯の設置対策として、なくさみ館の夜の使用申し込みの時点で、行事主催者に対して移動照明など準備するよう当面の間はいたします。

なお防犯灯の整備に関しては、設置後、使用料は、誰が払うのか、電気代は誰が払うのかなど設置後の管理の方法を地元としっかり議論しながら財政の状況も踏まえ、夜間の安全については、補助事業も模索しながら検討してまいります。



なくさみ館入口

28年度以降マイナス収支に対し財政再建の策は

問 平成25年度決算状況を基本として、平成

26年度以降の歳入歳出予算を比較した時の今後の財政状況について、まず公債費の増額に伴い今後の財源不足に影響はないか、人件費が億単位で増額見込みであるが、職員採用に問題はなかったか。また、実質収支が平成28年度以降マイナスに転じるが、財政再建の策はあるのか、積立金(基金)が、平成28年度以降0円になるがその理由は何か。さらに決算審査意見書における今後の対策をどのように講じていくのか問う。

自主財源の確保に務める

答 大変厳しい状況が続いておりますが、今



美島議員

直売所百菜の決算状況は

問 農業振興において

は、畑総事業、畑からは長期的な財政計画をたてていく中で、徴収対策会議も新たに設立いたしましたので、自主財源の確保に努めてまいります。公債費が今後増額傾向にあり平成28年度には、財源不足が発生する状況であります。また、人件費については、職員給料が平成23年度と同水準です。積立金(基金)においては、財政調整基金、減債基金がなくなる上に、2億1千4百万円程度の財源不足が生じますので自主財源の確保(税金、使用料等徴収の徹底と歳出抑制の断行を行ってまいります。また、28年度においては、ダムの負担金の償還年度でもあります。

ん事業の早期完成と同時に行政として指導の取組が必要である。畑総事業の進捗率、平成25年度の農業生産額、農家の平均所得はいくらか。また、堆肥センターの使途不明金の支払(月額3万)、直売所百菜の決算状況、特産品加工工場の事業経過と運営状況はどうなっているのか。平成25年5月13日の説明では、指定管理者を募集して、平成26年1月に協定を結ぶとの説明でしたが、協定書、募集要項、面接審査や、選考結果通知の書類等の提出はできるのか問う。

132万5682円の赤字

答 平成25年度までに目標面積1760ヘクタールに対して、1369ヘクタール、進捗率は77・8%、畑かんは目標面積1500ヘクタールに対して404ヘクタールで、進捗率は26・9%です。

平成25年度の農業生産額は、31億8773万6千円、農業所得は169万3百円で、農家人口1883人です。

堆肥センターの使途不明

金の支払い状況は、平成21年度42万円、22年度36万円、23年度36万円、24年度36万円、25年度15万円、26年度0円で会計165万円です。直売所百菜の決算については、平成25年度売上合計が1億6千34万844円で、支出合計が1億616万2526円、赤字が132万5682円です。町の貸付金が500万円です。

特産加工工場の事業経過と運営状況については、建物の本体工事が完成していますが、いろいろな不備があり、今様々な問題が出ていますが、現在の工場を指定管理者制度にするということであり、残った計画については、町はそれ hands on 手続き上は関係ない状況ではないかと考えております。

子育て支援にもっと力を

問 町長は「子宝の町」「長寿の町」を宣言

しましたが、出生率日本一を自慢できるためにも、子育て支援にもっと力を入れる必要があると思うが国庫補助金、子宝から子育ての

町への予算、647万6千円が認められなかったのはなぜか。また、ふるさと納税の応援基金で子育て支援金として活用できないのか問う。

100%事業を勝ち取る

答 今年度だめだった理由などを十分検証して、来年度100%事業を勝ち取るべく努力してまいります。ふるさと納税は全て一般財源になりますので、一般財源です。ふるさと納税は全額一般財源になりますので、一般財源です。ふるさと納税は全額一般財源になりますので、一般財源です。

今年度だめだった理由などを十分検証して、来年度100%事業を勝ち取るべく努力してまいります。ふるさと納税は全額一般財源になりますので、一般財源です。ふるさと納税は全額一般財源になりますので、一般財源です。



伊仙保育園の子どもたち

マニフェストに対する予算措置は

問 大久保町政4期目がスタートし10月に1年を迎えようとしている。

マニフェストに100項目の公約を掲げているが予算的に反映されているのか検証する必要があると考えます。今後は更に厳しい財政状況の中で優先順位をつけ峻別し、実現に向け臨むべきと思うが町長の見解を求めます。

優先順位をつけ事業を峻別

答 予算が厳しい中で実行できる事、既に実現できている項目もたくさんあります。そういった中でこの5つの課題「産業が立

ち上がるまち伊仙」「もてなしと癒しの健康長寿のまち伊仙」「子ども達の未来を育むまち伊仙」「全ての町民が主役のまち伊仙」「歴史文化・自然を大切に

するまち伊仙」はこれから伊仙町が取り組んでいくべき全てをこの中に網羅しているつもりでございます。マニフェスト全般の遵守に関しましては、厳しい財政状況の中で先ほど優先順位をつけ、さらに事業を峻別していく必要があると指摘がございました。まさにそういう思いで職員一同取り組んで参りたいと思っております。



牧議員

案内板の設置を

問 平成28年度に予定されている奄美・琉球

諸島の世界自然遺産登録を前に補助率の高い効果促進事業等を活用し観光案内板、公共トイレ等の案内板設置は考えられないか問う。

手づくり観光マップを作成

答 世界自然遺産登録が

現実なものになれば、観光客の増加は大きいに期待できます。観光客が必要とする情報をより多く提供することが地元町村としては大事なことであります。本年度の子ども議会において、鹿浦小学校から同様な質問があり、鹿浦小学校では「伊仙ふるさと発見」という事業の中で、校区の名所旧跡を記した観光マップを作成したということです。観光マップ作成といたった取組を教育委員会とも連携を取りながら、伊仙町全校区に波及して手づくりの観光マップで観光客をもてなすという方法等も進めながら、補助事業を活用した観光案内板設置につい

ても観光客の利便性向上のためには、実現できるような努力して参りたいと思います。

街灯を早急に

問 徳之島なくさみ館へ

県道の入口から防犯灯(街灯)の設置はできないか。先般の闘牛大会開催時に大勢のお客さんが来場し県道近くまで車を駐車し、真っ暗闇の中を歩くなど大変危険な状況でありました。早急な対応が求められるが対応できるのか問う。

設置後の管理が課題

答 現在伊仙町の方で防

犯灯(街灯)を設置したのを見てみますと全てが設置した側が修理をして電気代を払っている現状になっておりますのでその辺もしっかりと、どうすれば設置後の管理がしつかりできるのか模索した上で実施をしていきたいと思っております。



徳之島なくさみ館(目手久)

松くい虫防除対策は

問 天城町の平土野港近

くで発生した松くい虫が広範囲にわたって広がっており、轟木、花徳方面、南に向かつては、千間海岸から秋利神、西阿木名へと拡散し、上成川下流を経て小島集落まで来ている。このことを踏まえ、早急な防除対策が必要と考えるが、対策を講じるのか問う。

薫蒸処理、散布剤樹幹注入等の申請準備

答 現地を確認した結

果、天城町西阿木名のコーラル石産の海岸一帯が松くい虫被害であろうと思われる松が広範囲にわたって広がっており、また、伊仙町方面へ調査した結果、小島から小原海岸へ進

んでおり、早急に徳之島林務駐在へ報告し現地確認を依頼するとともに、サンプル採取して検査機関へお願いしました。また防除対策として薫蒸処理、散布剤樹幹注入等の申請準備をしていきたいと考えています。

西部地区の庭木、盆栽等に関しては各自での防除の啓発を防災無線及び経済課通信等で徹底を促していききたいと考えております。

表流水調査の実施は

問 杉原川の表流水復活

並びに、河地浄水場の整備で水質が改善され町民に大変喜ばれている。このように5集落では改善されたが糸木名・木之香・東犬田布の3集落では未だに地下水に依存しているため苦情が多い。八重竿集落の裏には屋久田川の上流など、まだまだたくさん表流水が海へ流れるほど水が豊富である。今後住民の苦情や要望、ポンプアップの電気代等を考えた場合、早急な対策が必要と思うが表流水調査を実施することを検討できないか問う。

水源調査と地下水に依存しない水道運営を確保

答 昨年度に杉原川の漏

水管の一部と河地浄水場の整備を行い、河地・小島・上晴・崎原・西犬田布の5集落に表流水を供給できるようになり、住民よりの水の質が良くなったと多く聞かれるようになり、水道課としては大変喜ばしい次第です。しかし、同じ西部地区の中でも、糸木名・東犬田布・木之香についてはやはり硬度の高い地下水が大半を占めている状況で早急に改善を行わなければならぬと考えております。屋久田川の水源についても、今後渇水期において必要と思われるので、住民より情報を提供していただきながら水源の調査と地下水に依存しない水道運営を確保していきたいと思っております。



杉原川源水

学童保育に対する取組は

問 学童保育について、未就学児、低学年の学童保育について、長期休暇に関するどの機関も対応を行っていない状況であります。働く保護者としては長期休暇も安心して預けて働けるよう子ども達の安全な居場所を作るべく対策を講じられないか。また、民間保育所等への委託や補助を含めた支援を行っていくことも考えられないか問う。

い。また学童保育については厚生労働省の放課後児童健全育成事業という補助事業があり、本町では児童館で実施している。今後、保育所等から要望、申請があれば、県担当課と協議し、検討していきたいと思います。

早い時期に実施していきたい

答 ご指摘のとおり、長期休暇の預かり保育は実施しておらず、教育委員会としても子育て支援の一環として何らかの対策を取っていかねばならない。現在まで幼稚園は学校という位置づけで夏期休業等を規則で定めている。今後、幼稚園で実施するには、まず規則の改正や預かり保育の実施要綱等を整備する必要はある。今後、検討し、早い時期に実施できるとするよう取り組んでいきたい。

い。また学童保育については厚生労働省の放課後児童健全育成事業という補助事業があり、本町では児童館で実施している。今後、保育所等から要望、申請があれば、県担当課と協議し、検討していきたいと思います。

地域や保護者等と協議

答 町内からも東部地区にも認可保育所が必要という意見が出ている。地域や保護者、また69名の僻地の園児、保育士等と協議を進めて検討したい。また、全国的にも大島地区全体で保育士不足であり、この問題もどうしていくか課題である。

が、町長の見解を問う。



わかば保育園

公民館を保育園として有効活用しては

問 東部地区東公民館の利用率が伸び悩んでいると考える。また、この現状を受けて、東部地区においても給食のある保育園をとという要望も多々ある。旧西公民館は、わかば保育園として有効活用され大変喜ばれている。今後の子育て支援政策の一環として検討すべきであると考えている。



東部地区東公民館

民泊施設の整備は

問 交流人口に向けての施策として、ほーらい館等を活用した宿泊施設の整備は検討できないのか問う。

い。また学童保育については厚生労働省の放課後児童健全育成事業という補助事業があり、本町では児童館で実施している。今後、保育所等から要望、申請があれば、県担当課と協議し、検討していきたいと思います。

町政の重要な課題の一つとして検討

答 少子高齢化で人口が大幅に減少すること島は、航空路運賃の低減化に加えて、世界自然遺産登録に向けた取り組みが進み、交流人口の拡大の機運が高まりつつある。しかし、町内には、宿泊施設がほとんどなく、単なる通過型地域となっている。今後の町政の重要な課題の一つとして、検討していく必要がある。



永田議員



徳之島交流ひろば「ほーらい館」

